

パヤオ情報

第3号 1995年8月

沖縄県水産試験場

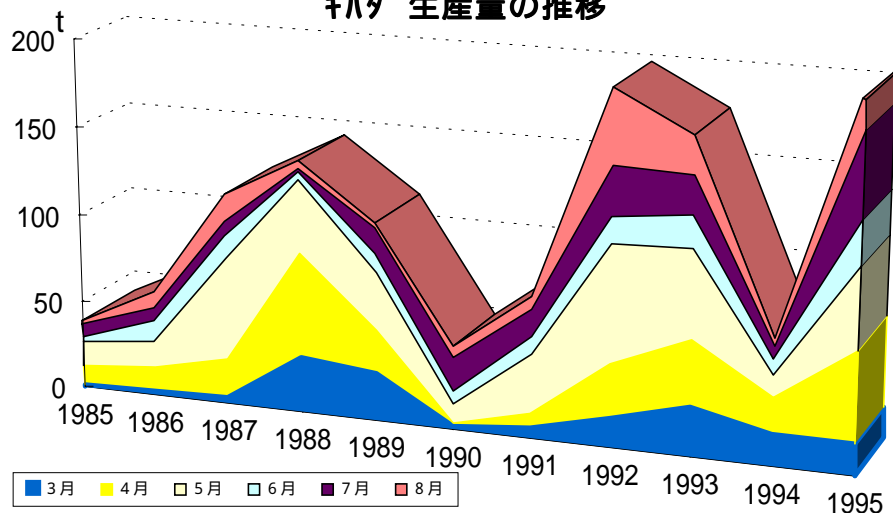
901-03 沖縄県糸満市西崎1-3-1

電話 098-994-3593・3597

ファクシミリ 098-995-2357

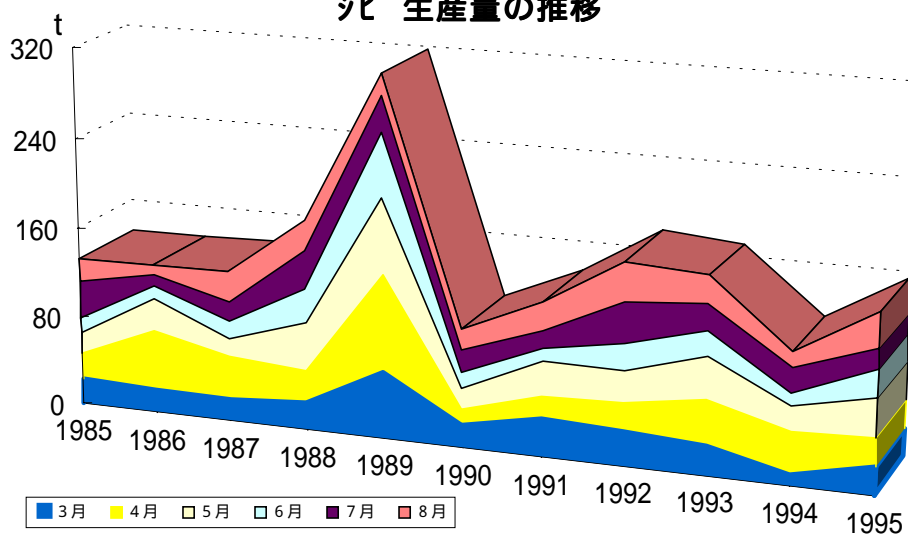
今年のパヤオ漁は好調だと言われていますが、沖縄本島南方海域のパヤオに出漁する糸満漁協、港川漁協、知念漁協、沖縄市漁協のパヤオ漁の漁獲量を整理してみました。その結果、パヤオ漁の主要な対象魚であるキハダ(10kg以上)の漁獲は確かに良く、シビ(10kg未満)、シイラも昨年よりは若干良いようです。

キハダ生産量の推移



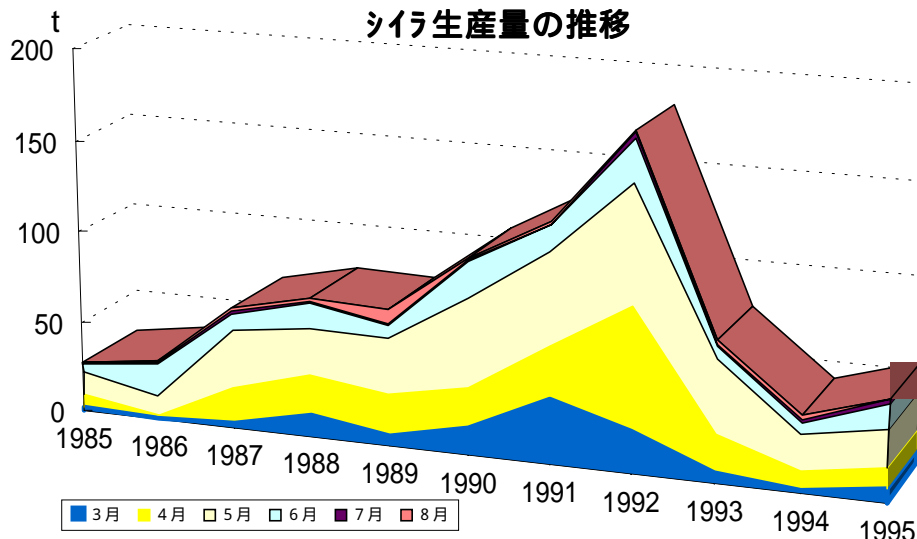
沖縄本島南海域のパヤオにおけるキハダの3月～8月の漁獲量は、昨年はかなり悪かったのですが、今年は好調で、これまで最高だった1992年を越えています。

シビ生産量の推移



シビの漁獲量は、1984年の豊漁、翌年の不漁を除けば比較的安定していますが、今年は昨年より若干良く、平年並みとす。なっています。

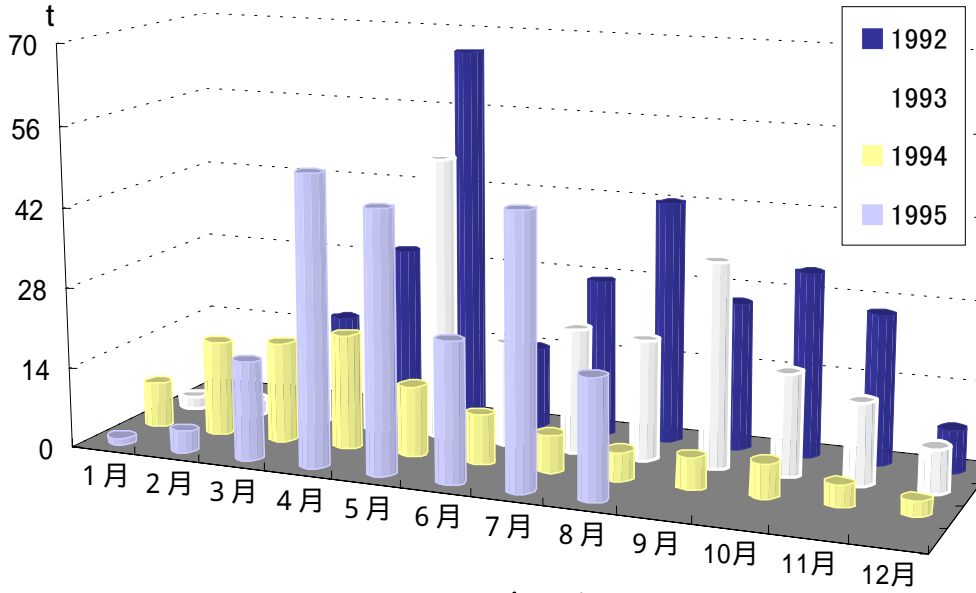
シイラ生産量の推移



シイラの漁獲量は、1992年まで急激に増えてきましたが、93年から急に減少しました。



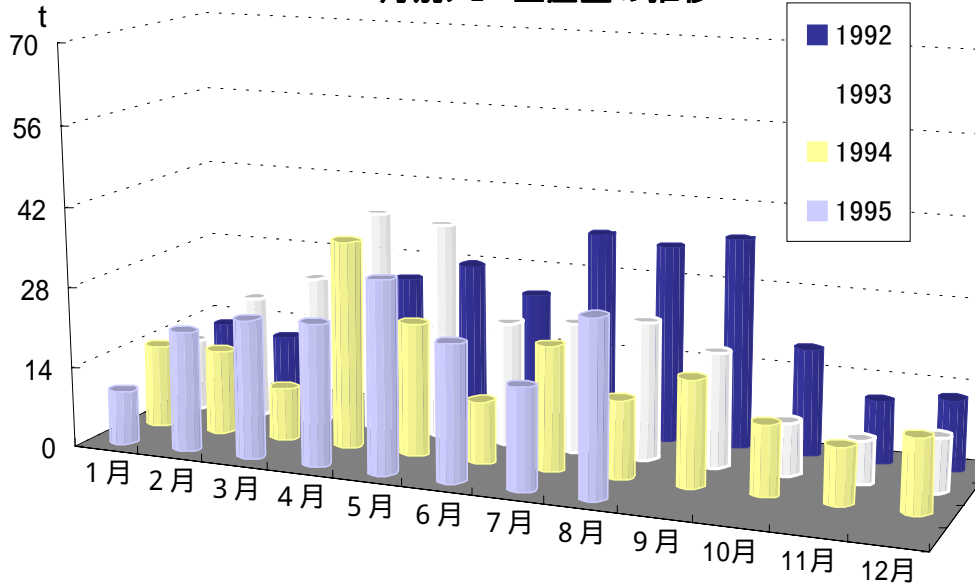
月別キハダ生産量の推移



キハダの漁獲量は、過去2年間5月と8、9月がピークになっていました。

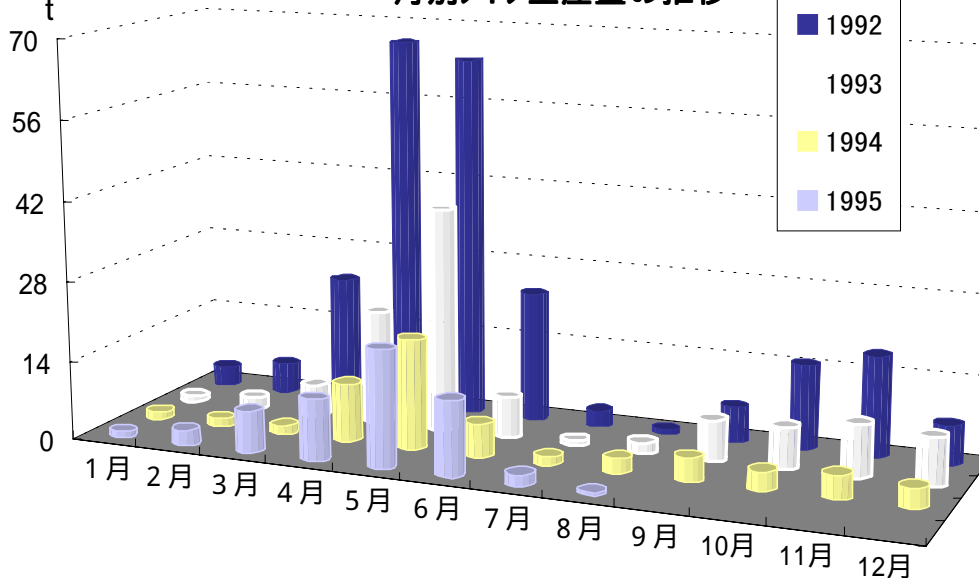
今年は、4月、5月が好調だった他、例年あまり釣れなくなる7月にもたくさん漁獲されています。

月別シビ生産量の推移



シビの漁獲量は月による差が少なく、周年漁獲されていますが、3月～10月に多いようです。今年も例年と同様な傾向を示しています。

月別シイラ生産量の推移



シイラの漁獲量は通常3月～5月と10月～11月の2回ピークがあるようです。今年の春漁は、92年、93年よりは悪かったものの、昨年よりは若干良いようです。

魚の絵は「方言でしらべる沖縄の魚図鑑」横井謙典を利用